

東京 あたりでは製鐵所が出来るに思ふ... 非常には驚かされて来る... 思ふ所の今頃は...

進歩的怠業

此點は賞すべきなり

間では製鐵所が職工の罷り... 損害を被つたやうにいひ... 居るやうであるが此點に就て...

打撃を與へた

である。彼はさうした事... なる行爲に出でない必ず自... 職工の勤務する工場は...

支差へ

あるやうなもので... 怠業は怠業を具にし... 今度の怠業で職上は自... 要求が容れらるれば復業...

富分は

お禮廻 何かて滞在... 自動車の活動

自動車の活動

自動車の活動... 八幡

上京

まいと思ふ... 院の方は漸く豫算審査が済んだ... 間くらの日子を要する...

長官登廳

官は八日夜より九日午前... 藤官房主事より事件を經過...

飽迄目的貫徹

今夜の會合は警官立會の上に... 全職工の眞の叫を聞かせ度い

誠意なき回答に對し

友會の友愛會が... 官の回答を以て不得意... 八日夜、尾崎の...

秘密會議

たりとの説を耳にした... 友會の友愛會が... 秘密會議を以て...

警察官憲

を以て要求... せぬ我々を必しも過激の手段... 以て要求を容れしめよと云ふ...

眞の叫び

を聞かせる... 眞の叫び... 眞の叫び... 眞の叫び...

職工不穩

幸くも解散... 職工不穩... 幸くも解散... 幸くも解散...

堂山機關部

九日午後製鐵所に於ては... 作を開始したる... 代表者は警察官憲...

友愛會神戸主任

友愛會神戸支部主任... 八幡 急行し...

私責任土

竹下工場課長談... 私責任土... 竹下工場課長談...

恐縮至り

竹下工場課長談... 恐縮至り... 竹下工場課長談...

兩檢事實地檢證

足元正一色見玉... 兩檢事實地檢證... 足元正一色見玉...